平成31年(2019年2月20日)

こ切にれラー

となも 08

はさ

は腸が

をわ

元

気

と意ている

にラ

て良≦

。摂ン

L

11

わ

今までは・・・・ まごはやさしい

にもやさしいわ

やさいな しいたけ いもか

 $\downarrow \downarrow \downarrow \downarrow$

ヤクルト 毎 食 育 ϶ 教室を開催! ~全児童・教職員・保護者参加の楽しく分かる講話~

す者

第 1 5 号

E講 S師 推一 進沖 室縄 課ヤ 長ク ル 栄ト 養株 士式 ′会 社

比屋定小学校 大城美千代 TEL985-3722



前 原 愛 氏

は室室日 課をへ 長開木 前し三 師比 は屋 `定 沖小 縄学 ヤ校 クで ルー トヤ 株ク

式ル

会ト

社ᆿ

E食 昨S育二

年推≤月

度進教七

。を前点の今く地回 :話ま らスタン水・のし食風、ルルきに は良ミパ化赤働くべにれこらま以時申し進をる食らもでW :くンク物・き食る食たと物すではした行し力育し参すS ・ 全価性婦 ベレベ方 を」の高上。はて『五い加。型 . 込で<u>ଲ</u> すも見ま食力と「童」 めす四 。素事しべ」な食・」 5 ´。 • 晴でた物のり育教を れ 五 ら ` を中ま一職行 年 選かしに員い し全 生 ぶらたつ `ま かて °い保し つの 力一 で □食 た参 て護た で加 楽者

るはれ々 こ॥ばや と体良生 にいき に ②緑黄 必の物 手 521 要かの を 菜++ な?命 3(1)(1) を 七 汁赤 頂 頂 (+ B き

量

校

内

駅

伝

大

会

の

お

知

ら

世

-. ②

1

1320三 をし

ま 本れ高位 当て学 にお年 は 学りの び、講覧 の発話年 \mathcal{O} 多達を い段べつ 罗階]

食にスー 育応に一 ●じし生 教たなご 室対がで と応らす なを」′。 りし絵 まて本

し頂の

たき読

゜まみ

し聞

たか

せ

が

含

屋仲

間のたので職員

休後

でか

000 ジ みで 名百本場日 励多ヤまど決誰くメ校所時 しくガたこまが八十児・・・ てのイ 、ろりど名ト童本三 下地モ例のまののルが校月 さ域も年一す順たの縦職七 いの振通つ。番め周割員日 ま皆るりで勝で、回り室へ す様舞 、す負何一コ班前木 よがい収。の周人しへに 行走でスA集午 うごた穫 方る二を・合前 お参いし 願加とた 九 だの周十B 時 い頂思ば けかす二 Ξ 致きいか ではる周に 、まり + な各児し分 ま子すの 分 くチ童まか 塩 応しもすれ ŧ 援ムい°て で 合のま各一

戦作す班周

も戦。七七

を

た

定情長 たん職っ 快思補 職書 おら 。 `の西十くい充こ員のこ休三事し二

今小を 後学ご我 と校理那 もを解覇 ご代頂通 理表き代

解し事さ とて務ん ご心職、結 支よ員岩び 援り配西に を御置こ お礼にこ久 願申向ろ米 いしけさ島 致上てん町 しげごに教 まま高お育 すす配か委 。頂れ員

きて会 まはの `吉 て学野 `校剛 比の教 屋実育

おノ田九引ま職ので受のみ月務て月 忙ウ未日きす員度補付二し七の「十 しい穂の受っと、い一週で日石仲九いウー午けたし仲合等間いま原里日 中をさ後てって里つをはまで由綾(、教んに頂、配綾て行、す体香乃火 誠えがはきに属乃きつ養 にないは、 にて来、感は決んしり教 のさし水致 のさし水致 のさし、 治 調里さし 不さんよ 良ん 一度 度 り石 電 の のががく 為二赴本 `原 一月任校 話寿 ケ五し臨 等代 月日ま時 の先

応生

対が

はっ

全文

がい、小し とま綾学まで 多当香に里 ごたさの ざ°ん事 が嬉さ い西に務 りしん ま田事職 しさ務員 くの

- 1 -